

CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20-3,301
TEL: 045-717-8575 FAX: 045-717-8683

原料炭の中国市場動向（2022年3月）

現在、内モンゴル地区では一部の炭鉱や選炭工場が環境保全審査のため生産停止や減産を余儀なくされている。また、3月に中国人民政治協商会議と全国人民代表大会が開催される期間中は、全国で環境保全への取組みの推進と、企業の安全生産検査がより一層厳しくなったため、他の地区も原料炭の生産量が減産傾向であり、供給逼迫のため価格上昇につながったと考えられる。

3月14日現在、山西省の主要原料炭価格及び前月との比較を表1に示す（1元=18.5円で換算）。

表1 山西省の原料炭価格及び前月との比較（3月14日）

炭種	価格		前月との比較	
	元/トン	円/トン	元/トン	円/トン
CCI 山西低硫黄分	3,335	61,698	Δ790	Δ14,615
CCI 山西高硫黄分	2,940	54,390	Δ732	Δ13,542
CCI 霊石肥煤	2,700	49,950	Δ350	Δ6,475

注：CCIはChina Coal Indexで、指標ではなく、インデックスの値動きである。以下同。

上記の各種原料炭の炭質は表2に示す。

表2 原料炭の炭質

炭種別	Ad(%)	St,d(%)	Vdaf(%)	G	Y (mm)	CSR
CCI 山西低硫黄分	10	1	22	85	18	65
CCI 山西高硫黄分	11	2	23	85	18	65
CCI 霊石肥煤	10	2	30	90	25	68

輸入炭と国内供給量の減少によって、モンゴル原料炭の需要が増えている。コロナの落ち着きに伴ってモンゴルの原料炭輸入は回復しつつある。

モンゴルと中国国境との主要な石炭貿易検問所 Hangi Mandal（中国語：甘其毛都）の3月7日～11日の週に1日当たりの通関トラックは174台で、前週より29台が増加した。輸入量は増加しているが、需要にまだ追いつかず価格は上昇している。モンゴルの原料炭（原炭）価格は2,300～2,400元/トン、原料炭（精炭）は2,750～2,850元/トンに上った。

港湾の原料炭輸入量は、国内の取引が継続して行われているため、これまでに通関した豪州炭の在庫が減りつつある。現時点で、京唐港の販売予定の在庫は約70万トンに減少した。同港の豪州主焦煤¹の価格は約3,400元/トンに上った。ロシアのk4主焦煤の価格は約2,800

¹ 主焦煤（The main coking coal）は中国石炭分類に基づき低灰分、低硫黄分、高発熱量、高強度の良質原料炭で

CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20-3,301
TEL: 045-717-8575 FAX: 045-717-8683

元/トンで、3月初週より 200 元/トン上昇した。

これから、コークス企業の生産制限の解除に伴って港湾の輸入原料炭価格が更に上昇するかと見込まれている。

輸入する原料炭の炭質を表 3 に示す。

表 3 輸入する原料炭の炭質

炭種	Ad(%)	St,d(%)	Vdaf(%)	G	Y (mm)	CSR
モンゴル原料炭・精炭	10.5	0.7	28	80	13	67
モンゴル原料炭・原炭	19	0.9	28	85	13	64
豪州主焦煤	9.5	0.8	24	80	14	58
ロシア主焦煤	11	0.3	20	83	13	62

長期的に見て基本的にロシアの石炭輸出は停止し、オーストラリアは炭鉱の生産や出荷に洪水の影響が出ている。国内の需給逼迫が続く中、国際市場の原料炭はさらに価格上昇が予測される。そのため、中国バイヤーは購買を控えめにする場合、輸入量を大幅に減少するかと見られる。

需要面では、コークス企業の原料炭在庫量が低いレベルにある。また、全人代の終了に伴って環境保全の対策措置が緩み、コークス企業の生産を再開し、原料炭需要を押し上げる見通しである。

情報源：中国煤炭資源網より整理、作成。

ある。